

科目名	インターンシップ	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	申 銀珠		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-A-2-150003	国際学部C：新潟の地域社会にあつて学術的素養を日々活かす方法をたえず探索する強い意欲をもち、これを具体化していくための社会関係構築能力を獲得していること			
授業の目的・テーマ	<p>就業体験を通じて自己のキャリア実現に向けて主体的に考える力を実践的に学ぶ。「キャリア開発」「就職ガイダンス」その他の授業の中で習得した知識と、自分自身が積み上げてきた「自己能力」を企業の中で確かめることが出来る良い機会である。実際に企業の中に身を置き、各世代の人々とコミュニケーションを取りながら、社会人として必要な様々な能力や技術に気付き、自己成長に結び付け今後の大学生活に活かしていくことを目的としている。この経験は、今後取り組む就職活動や卒業後の人生設計を考えるうえで非常に役立つものである。</p>				
内容	<p>本授業科目は一般の講義科目や語学科目、演習・実習科目とは異なり、主に夏季休業を利用して平均して1週間程度受入先で就業体験を積む（したがって「各回毎の授業内容」の記載の仕方も異なる）。体験内容は受入先に応じて異なる。それゆえ、学内で学ぶ「キャリア開発2」の授業が重要になる。実習内容は、ソーシャル・エチケットやマナーおよび民間企業の一般的な組織・業務内容に関するものになる。受講学生は、受入機関について調査し、就業体験の内容と何を学んだかをレポートにまとめる。また就業体験中に作成する実習日誌の書き方もあわせて学ぶ。実習日誌を最終的に仕上げ、大学に提出する。その日誌は受入先機関の守秘事項チェックを受ける。指摘された部分があった場合、それを修正して再提出する。以上の後、参加学生が各自受入機関へ礼状を出して、授業が終了する。</p> <p>インターンシップ受入先の就業体験をもって各回の授業に充てる。試験の代替措置として、レポート（実習報告書）を提出する。</p>				

学修到達目標	アルバイトでは体験できない様々な就業体験を通じて「働くとはどういうことか」を理解し、志望業界、企業、職種への意識づけが行なわれ、それを自らの就職活動や今後のキャリア形成につなげることができるようになること。
実務経験との関連性	実務経験をするための講義であり、各回、実務経験者による指導を受ける。

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	実習前に実習先の企業・業界研究を行うこと。
【復習】時間・内容	実習先での反省点・課題を振り返る。

成績評価	
評価基準・方法	成績評価は、事前研の出席状況、受け入れ先企業の評価、実習日誌の内容の3点から総合的に判断する。尚、受け入れ企業・団体数は限られており、希望者全員が履修できない場合がある。受け入れ企業・団体が決まらなかった場合、履修登録そのものが取り消される（成績上の記録は何も残らない）。ただし、受け入れ先機関が決まった後、事前研修において著しい問題が見られる場合、その段階でD評価がつけられることもある。さらに実習報告書を実習終了後2週間以内に提出しなかった場合、特段の理由がない限りE評価とはせず、D評価とする。内容が（誤字脱字も含めて）一定水準以下の場合、同じくD評価となることがある。
フィードバック方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ修了後、提出された報告書に添削をして、本人に再度確認修正をさせる。</li> <li>・企業からの評価に基づき、その内容を学生に伝える。</li> </ul>

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	特になし
---------	------

<p>受講上の留意点等</p>	<p>就職活動が3月解禁6月選考開始の日程において、多くの企業がこの日程を遵守せず早期に採用をしている。このため、インターンシップを経験しているかどうか就職活動成功のための大きなカギとなる。本学が指定している企業・団体に参加したところがなくとも、アルバイトでは経験できない貴重な就業体験を与えてくれるので、下記②の団体・企業も含めて参加することを強く薦める。</p> <p>また、この授業科目は、3年前期の「キャリア開発2」とインターンシップガイダンスを受講することを前提としているので、ぜひ、「キャリア開発2」を受講してもらいたい。受入企業・団体は、①大学が指定する国内企業・団体、②学生が自ら選び、インターンシップ参加が認められた国内の企業・団体、もしくは③学生自らが選び、インターンシップ参加が認められた海外の企業・団体とする。①については、実習学生から希望を確認し決定する。②、③については交通費・渡航費・滞在費等滞在期間中の費用は当該学生がその一切を負担し、本学は一切それを負担しない。また、インターンシップ参加の交渉・斡旋を本学は一切行わず、滞在期間中の安全及び滞在先についても学生自身が自己責任で確保する。参加期間を夏季休業中のみとする。また、②及び③の単位認定に当たっては、①で本学が学生に義務付けているレポート及び実習日誌の提出期限までの提出と、受入企業・団体担当者からの当該学生に関する実習報告書の提出を条件とする（成績判定はこれまでと同様とする）。これらすべてがそろわない場合には単位を認定しない。</p> <p>過去の実習日誌はキャリア支援課で随時閲覧できる。まずは先輩の体験に目を通して見るように。受講に当たって迷いがある場合、ぜひ遠慮せずに、担当の教員もしくはキャリア支援課職員に相談してもらいたい。</p>
<p>JABEE</p>	